

0-1で惜敗!

FCCアサヒナ 初白星ならず

スポーツ鹿

号外



女子サッカーのプレミアまでリーグ2008ティビション第4節は5月4日、霧島市の国分運動公園陸上競技場など、全国各地であった。地元の鹿児島鴨池FCCアサヒナはルネサンス熊本と対戦。今季よりリーグ準加盟を果たしたアサヒナは、終始押し気味に試合を進めるもなかなかゴールが奪えず、前半33分にカウンターから失点。後半も再三チャンスを作るも得点ならず0-1で敗れた。第5節は5月11日(静岡 県営草薙球技場)にあり、アサヒナは清水第八プレアレスと対戦する。
【政純一郎】

「ハンダグリー」に成長も

第4節
ルネサンス熊本 1(0-1,0-0)0 FCCアサヒナ
得点者 熊塚本(補嶋田)

アサヒナはルネサンス熊本に挑んだが、0-1で惜敗。出口泉監督は、うまくいえないが、いけど力のなさを感じました。もっとも、力をつけないと、何度モロにして悔しかった。地元でのリーグ初白星を目指し、立ち上がりから気持ちはひとつにしてアグレッシブに攻め続けた。前半33分にカウンターから失点。

後半はMF中村麻衣を中心に、両サイドを切り崩して終始攻め続けるも、ゴールを奪えない。後半8本のCKなど再三セットプレーから得点機があったが、攻めが単調で、いすれも相手の守りに阻まれた。ゴールを守る相手に対応できなかつた。決めるべきときに決めてみんを盛り上げなければいけない。かたの、それができなかったとFW野崎あゆみ、柳木綾乃主将は勝てる試合を落としてしまった。あれだけ攻めていて押し込められないのは、気迫が足りないから」と唇をかんだ。リーグ3戦目にして白星は逃したが、収穫もあった。試合の入りから気持ちの高め、何としても勝ちたいという積極性を全面に出して戦うことができた。「ハングリーさが出てきたのは成長した」と出口監督。ただ、この試合を自信にしてみろっては困る。もっと力をつけてチームになぞサッカーをしたいと気持ちを引き締めていた。

